

## カーネーションの育種 (第3報)

東 礼一郎・川田 計

(大分県温泉熱利用農業研究所)

HIGASHI, R. and KAWATA, K.

(III) The Breeding of Carnation.

昭和38年にごく割れしない育成4系統, 昭和41年に育成6系統について報告したが, 引き続き優良と認められる3系統について報告する。

### 1. 育成の経過

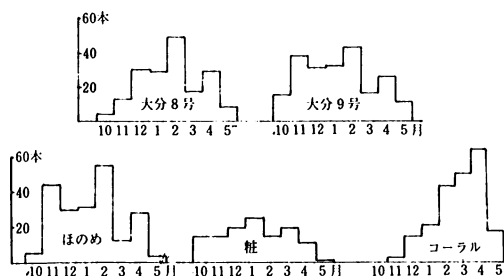
昭和39年実生より48組合せ 580個体, 40年実生より26組合せ 357個体を得これらの中より各1系統, 32年実生の枝変り1系統を優良種として選抜した。選抜方法は初年度は花容, ごく割性を重点に選抜しさらに, 増殖後生育, 開花, 経済性などについて調査し選抜を行った。なお, 32年実生の枝変り種は選抜の結果優良と認めたので「ほのめ」と命名した。

### 2. 育成系の特性

大分8号 E15号Xフロステットパトリシアン

昭和38年交配, 39年実生で特性は第1表のとおりである。花は洋紅色, 丸弁の大輪で, 花径 9.3cmとコーラル, 粧に比べ大きく, 花弁数も67枚前後と多い。茎は太くて強く, 草丈の伸長はよい。草勢は強いが分枝数はコーラルに比べやや少ない, 葉は大部分立性であるが一部に反転するものがある。開花は粧よりややおそいがコーラルより早い中生種である。8月上旬に最終摘心で12月に第1回の開花のピークとなる。採花数は第2表, 第1図のとおりであり, コーラルに比べやや少ない傾向にある。つぼみの先端

が尖り1~2月にごく割花がわずかながら発生する。病害抵抗性はコーラルと同程度で強い。



第1図 月別採花数(30株当り)

大分9号 セレスメホワイトシム 昭和39年交配 40年実生で, 花は明るい緋赤色の大輪で, 花径は7.8cmと大きく, 花弁数も70枚前後と多いが, ごく割花の発生は全くない。草勢は強く草丈の伸長がよい。また, 茎が強く分枝性はよい。葉は反転せず正常に展開する。極早生であるため8月中旬に最終摘心すれば12月に開花がピークとなる。年間を通じてよく開花し冬切り栽培では開花が安定している。また, 年内に採花したものは5月中旬までに2番花の採花が可能である。展開初期に花弁がやや内巻きになることがあるが, 花がすすむにつれ花弁の内巻きはなくなり正常となる。耐病性は強い。

「ほのめ」「ほのお」の枝変り, 花は純白の大輪で花径 8.6cmと粧より大きく, 花弁数は45.7枚と多いが, ごく割花は全く発生しない。葉は濃緑色で立性であるが, 下葉は反転することが多い。茎は太く, よくしまっており, 草丈はコーラルに比べ低いが出荷にはさしつかえない。草勢は強く分枝性がよいため摘心後の揃いがよく, 栽培容易である。ほのおの枝変りであるため, 特性は「ほのお」によく似る。8月上旬最終摘心で12月に開花がピークとなる早生種である。病害抵抗性は強い。

第1表 育成系の特性

品種・系統名	開花始	花径	弁数	分枝数	切花長	節数	花 色	草勢	早晚	耐病性
	月 日	cm	枚	本	cm	節				
大分8号	10. 18	9.3	67.2	9.6	59.6	10.6	洋紅色	強	中	強
大分9号	10. 12	7.8	53.8	8.6	70.5	11.5	赤	早	早	強
ほのめ	10. 14	8.6	45.7	9.9	58.7	11.4	白	中	中	強
粧	10. 20	7.7	47.9	7.0	59.6	11.5	ピンク	中	中	強
コーラル	11. 21	6.2	25.1	11.6	69.4	12.5	赤	中	中	強
ほのお	10. 13	8.7	47.7	12.0	58.4	11.3	赤	中	中	強

第2表 月別採花数(本)(30株当り)

品種・系統名	10月	11	12	1	2	3	4	5	合計
大分8号	4	13	30	29	49	17	29	8	152
大分9号	15	38	31	32	43	16	26	11	212
ほのめ	6	44	30	32	55	13	29	4	213
粧	15	15	20	25	15	20	11	1	122
コーラル	0	3	15	21	43	50	64	18	214